

CentreCOM® FS708E ユーザーマニュアル

この度は、CentreCOM FS708E をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
本製品は、10BASE-T/100BASE-TX ポートを 8 ポート装備した外部電源型ファーストイーサネット・スイッチです。本書をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。また、お読みになった後も大切に保管してください。

特長

- オートネゴシエーション機能をサポート
- 外部電源型(AC アダプターの標準装備)
- 10Mbps/100Mbps、Full Duplex/Half Duplex 自動認識、自動切り換え
- カスケード接続専用ポートを 1 ポート装備
- ポートごとの通信状況が一目でわかる LED を装備

梱包内容

最初に梱包箱の中身を確認して、次のものが入っているかを確認してください。
また、本製品を移送する場合は、工場出荷時と同じ梱包箱で再梱包されることが望まれます。
再梱包のために、本装置が納められていた梱包箱、緩衝材などは捨てずに保管しておいてください。

- CentreCOM FS708E 本体
- AC アダプター
- ゴム足(粘着タイプ・4 個)
- ウォールマウント用タッピングスクリー(2 個)
- プラスチックアンカー(2 個)
- マグネット Kit M(別売 取付用ネジ 4 個)
- 製品保証書(3 年保証)
- お客様インフォメーション登録カード
- シリアル番号シール
- ユーザーマニュアル(本書)

各部の名称と機能

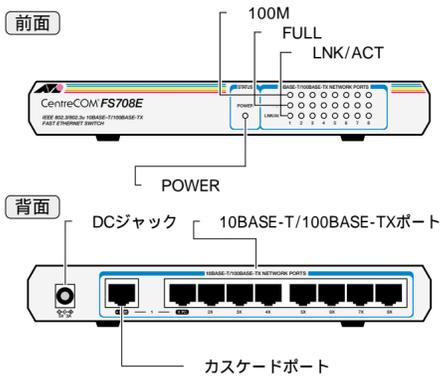


図 1 外観図

POWER(緑)
本体に電源が正常に供給されているときに点灯します。

100M(緑)
ポートが 100Mbps で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、10Mbps で動作していることを示します。
10Mbps/100Mbps の切り換えは、オートネゴシエーション機能によって、本製品が自動的にを行います。ユーザーが設定する必要はありません。

FULL(緑)
この LED は製品リビジョン(Rev)によって、点灯方法が異なりますので、ご注意ください。
(FULL LED の点灯方法のみ製品リビジョンによって異なります。その他の仕様は差異はありません。)製品リビジョン(Rev)は、シリアル番号シールに記載されています。

Rev D1 以降の製品
ポートが Full Duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplex で動作していることを示し、コリジョンが発生しているときに点滅します。
Rev D1 より前の製品
ポートが Full duplex で動作しているときに点灯します。消灯している場合は、Half duplex で動作していることを示します。

LNK/ACT(緑)
本製品のポートと接続機器とのリンクが確立し、相互に通信が可能な状態にあるときに点灯します。また、パケットの送受信が正常に行われているときに点滅します。

DC ジャック
AC アダプターの DC プラグを接続するためのコネクターです。(参照:図 2 AC アダプター)

10BASE-T/100BASE-TX ポート
100BASE-TX、または 10BASE-T の UTP ケーブルを接続するためのコネクターです。
これらのポートはオートネゴシエーション機能をサポートしているため、10Mbps/100Mbps、Full Duplex/Half Duplex を自動的に認識し、切り換えも自動的に行われます。

ポート 1 はカスケードポートと共用のため、カスケードポートを使用している場合は使用することができません。

カスケードポート
他のリピータやスイッチと接続する場合に使用するカスケード接続専用ポートです。

このポートはポート 1 と共用のため、ポート 1 を使用している場合は使用することができません。

設置するまえに

設置場所
本製品を設置する適切な場所を確保してください。以下のような場所への設置は避けてください。

- 直射日光のあたる場所、湿気の多い場所や水のかかる場所
- 温度変化の急激な場所(暖房機、エアコン、加湿器、冷蔵庫の近くなど)
- ほこりの多い場所
- 強い振動、腐食性ガスの発生する場所

電源
必ず付属の AC アダプターを使用し、AC100V のコンセントに接続してください。それ以外の AC アダプターやコンセントを使用すると、発熱による発火や感電のおそれがあります。

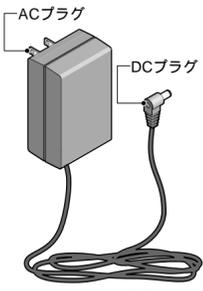


図 2 AC アダプター

ゴム足の取り付け
本製品をデスクの上などに設置する場合は、必ず付属のゴム足を取り付けてください。本体を固定し、衝撃を吸収するクッションの役目をします。
本体底面の四隅にマークがありますので、汚れをよくふき取ってから、その位置にゴム足を貼り付けてください。また、貼り直しは、粘着力を弱めますのでご注意ください。

壁への取り付け
付属のウォールマウント用タッピングスクリー(必要な場合は、プラスチックアンカー)を使用すると、本製品を壁などの垂直な面に取り付けすることができます。

- 石膏ボード、ベニヤなど、中空になっている壁に取り付ける場合は、付属のプラスチックアンカーを併用してください。
- 本体と UTP ケーブルを合わせ、最大 5kg 程度の垂直重量が加わりますので、取り付けはしっかりした壁に行なってください。手で押しただけでへこんでしまうような壁には取り付けしないでください。

- 次の点を考慮して、設置場所と設置方向を決めてください。
 - ケーブルおよびアダプターの接続が可能であること
 - LED の表示が監視可能であること

- タッピングスクリーを埋め込む位置を決めます。このとき、タッピングスクリーの間隔が本体底面にある 2 つの取り付け穴の間隔と同じになるように注意してください。

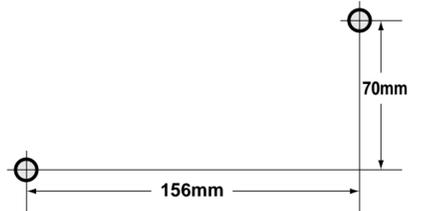


図 3 壁への取り付け寸法

壁にタッピングスクリーを直接つけることができない場合は、プラスチックアンカーを使用します。プラスチックアンカーは、あらかじめきりやドリルなどで開けておいた穴に挿し込み、かなづちで軽くたたいて壁に埋め込みます。
穴はプラスチックアンカーがやっと入る程度の大きさにしてください。穴が大きすぎるとがたつきの原因となります。

- ネジ頭を 5mm ほど残して、タッピングスクリーを壁(または、プラスチックアンカー)にねじ込みます。

- 壁から突き出ているネジ頭を本体底面の取り付け穴にさし込むようにして、本体を壁に取り付けます。ネジ頭がスロットにはまるまで本体をスライドさせ、しっかり固定させてください。

別売マグネットキットの取り付け
別売の「マグネット Kit M」を使用して、OA デスクの横などの垂直な場所に設置することもできます。

- 機器底面にゴム足が付いている場合は、マイナスドライバー等を用いて取り外します。

- 次に、本製品に添付のネジを用いてマグネットを本体に固定します。

マグネット用のネジ穴は本体底面の四隅の穴ではなく、内側のネジ穴を使用してください。

- マグネットは、ゴム足またはウォールマウント用タッピングスクリーと同時に使用することはできません。
- マグネット用のネジは本製品に付属のものを使用してください。

起動と停止

本体背面の DC ジャックに AC アダプターの DC プラグを接続しておきます。AC アダプターの AC プラグをコンセントに差し込むと起動します。AC アダプターの AC プラグをコンセントから抜くと停止します。
本製品に電源スイッチはありません。AC アダプターの AC プラグをコンセントに差し込んだ時点で、電源がオンとなりますのでご注意ください。

設置、接続のしかた

水平な安定した場所で、本体両側面にある通気口が異物などによってふさがれないような場所に設置してください。また、本製品は屋外ではご使用になれません。

オートネゴシエーション機能をサポートしていない装置と接続する場合は、必ず接続先装置の通信モードの設定を Half Duplex(半二重)に設定してください。

すべてのケーブルが機器間を接続するのに適切な長さであることを確認します。
本製品と端末を接続するケーブルの長さは 100m 以内にしてください。
また、ケーブルは 100BASE-TX の場合はカテゴリ 5 の UTP ケーブル(ストレートタイプ)、10BASE-T の場合はカテゴリ 3 以上の UTP ケーブル(ストレートタイプ)を使用してください。

- 本体背面の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに UTP ケーブルを接続します。
- ネットワークに接続する端末に 10BASE-T/100BASE-TX ネットワークインターフェイスカードが正しく取り付けられていることを確認し、UTP ケーブルのもう一方を端末のネットワークインターフェイスカードに接続します。
- AC アダプターの DC プラグを本体背面の DC ジャックに差し込んでから、AC プラグをコンセントに差し込みます。
- 本体前面の POWER LED が点灯することを確認します。UTP ケーブルの接続が正しく行われていれば、接続したポートの LNK/ACT LED が点灯します。

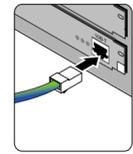


図 4 端末の接続

スタンドアローン

本製品は単純なスタンドアローンの環境で使用できます。本製品と端末間の UTP ケーブルの長さは 100m 以内にしてください。

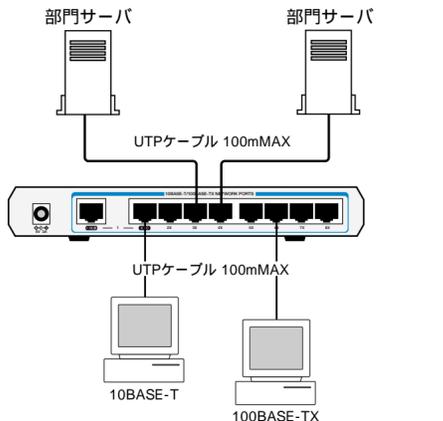


図 5 スタンドアローンの接続例

カスケード接続

カスケードポート(ポート 1)を使用すると、ケーブルを変更することなく簡単にカスケード接続することができます。また、リピータやハブとは異なり、スイッチのカスケード接続できる数に理論上の制限がありません。そのため、本製品を、カスケード用途に合わせ何段階でも拡張することができます。(ただし、カスケードの段数は、ネットワーク上で動作しているアプリケーションのタイムアウトによって制限されることがあります。)

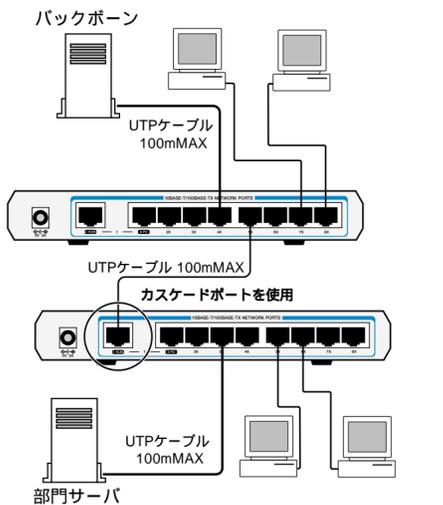


図 6 カスケード接続の例

1. 本製品のカスケードポート(=HUB)に UTP ケーブル(ストレートタイプ)を接続します。

カスケードポートは、ポート 1 と共用のため、ポート 1(X PC)を使用している場合は、使用することができません。

2. UTP ケーブル(ストレートタイプ)のもう一方の端を接続先の機器の通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートに接続します。

トラブルシューティング

「通信できない」とか「故障かな?」と思われる前に、以下のことを確認してください。

1. POWER LED は点灯していますか?

POWER LED が点灯していない場合は、AC アダプターのコードに断線がないか、AC アダプターが正しく接続されているか、正しい電源電圧のコンセントを使用しているかなどを確認してください。

2. LNK/ACT LED は点灯していますか?

LNK/ACT LED は接続先の機器と正しく接続されている場合に点灯します。点灯しない場合、以下のことを確認してください。

接続先の機器に電源が入っているか確認してください。また、端末に取り付けられているネットワークインターフェイスカードに障害がないか、ネットワークインターフェイスカードに正しくケーブルが接続され、通信可能な状態にあるかなどを確認してください。

UTP ケーブルが正しく接続されているか、正しい UTP ケーブルを使用しているか、UTP ケーブルが断線していないかなどを確認してください。また、ケーブルの長さが制限を越えていないか確認してください。2 つのネットワーク機器の直接リンクを形成する UTP ケーブルは最長 100m と規定されています。

本製品のカスケードポートを確認してください。本製品とリピータやスイッチをカスケード接続する場合は、本製品のカスケードポートと他のリピータやスイッチの通常の 10BASE-T/100BASE-TX ポートを接続してください。

特定のポートが故障している可能性もあります。ケーブルを別のポートに差し替えて、正常に動作するか確認してください。

UTP ケーブルに問題はありますか? ケーブルの不良は外観からは判断しにくい(接続は良いが特性が悪い場合など)、他のケーブルに交換して試してみてください。

リピータ(=ハブ)の数が制限を越えていないか確認してください。
ファーストイーサネット(100Mbps)の場合、クラス II のリピータは、1 つのコリジョンドメイン内で 2 台までをカスケード接続することができます。その場合、リピータ間のケーブルの長さは 5m 以内としてください。クラス II のリピータはカスケード接続することができません。
イーサネット(10Mbps)の場合、カスケードできるリピータの台数は、最大 4 台までとされています。

推奨ケーブル

10BASE-T/100BASE-TX ケーブル
ストレート結線の UTP ケーブル(Unshielded Twisted Pair Cable = シールドなしツイストペアケーブル)をご使用ください。
100BASE-TX では、カテゴリ 5 の UTP を使用しなければなりません。10BASE-T では、カテゴリ 3、4、5 のケーブルを使用することができます。

製品仕様

サポート規格	IEEE802.3 / IEEE802.3u
電源部	定格入力電圧 : AC 100-120V 入力電圧範囲 : AC 90 ~ 132V 定格周波数 : 50/60Hz 平均消費電力 : 14W(最大 15W) 平均発熱量 : 12kcal/h(最大 13kcal/h) AC アダプター : DC5V, 3A
環境条件	保管時温度 : -20 ~ 60 保管時湿度 : 95% 以下(ただし、結露なきこと) 動作温度 : 0 ~ 40 動作湿度 : 80% 以下(ただし、結露なきこと)
外形寸法(突起部含まず)	: 199 (W) x 115 (D) x 28 (H) mm
重量	: 620g AC アダプター含まず)
MAC アドレス登録数	: 約 1,000 個
メモリ容量	: 1MByte
適用規格	EMI : VCCI クラス A

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラス A 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

保証

製品に添付されている「製品保証書」の「製品保証規定」をお読みになり、「お客様インフォメーション登録カード」に必要事項を記入して、当社「お客様インフォメーション登録係」までご返送ください。「お客様インフォメーション登録カード」が返送されていない場合、修理や障害発生時のサポートなどが受けられません。

保証の制限

本製品の使用または使用不能によって生じたいかなる損害（人の生命・身体に対する被害、事業の中断、事業情報の損失またはその他の金銭的損害を含み、またこれらに限定されない）については、弊社はその責をいっさい負わないこととします。

ユーザーサポート

障害回避などのユーザーサポートは、右の「調査依頼書」をコピーしたものに必要事項をご記入の上、下記の番号まで FAX してください。できるだけ電話による直接の問い合わせは避けてください。FAX によって詳細な情報を送付いただくほうが、電話による問い合わせよりも遥かに早く問題を解決することができます。記入内容の詳細は、「調査依頼書のご記入にあたって」をご覧ください。

アライドテレシス サポートセンター

Tel: 0120-860-772

月～金(祝・祭日を除く) 9:00-12:00 13:00-18:00

土(祝・祭日を除く) 10:00-17:00

Fax: 0120-860-662

年中無休 24 時間受け付け

調査依頼書のご記入にあたって

調査依頼書は、お客様のご使用環境で発生した様々な障害の原因を突き止めるためにご記入いただくものです。障害を解決するためにも以下の点にそって、十分な情報をお知らせください。記入用紙で書き切れない場合には、別途プリントアウトなどを添付してください。

ご使用のハードウェア機種について

製品名、製品のシリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)を調査依頼書に記入してください。製品のシリアル番号、製品リビジョンは、製品の底面に貼付されているシリアル番号シールに記入されています。

(例)



お問い合わせ内容について

どのような症状が発生するのか、またそれはどのような状況で発生するのかを出来る限り具体的に再現できるように記入してください。

エラーメッセージやエラーコードが表示される場合には、表示されるメッセージ内容のプリントアウトなどを添付してください。

ネットワーク構成図について

ネットワークとの接続状況や、使用されているネットワーク機器がわかる簡単な図を添付してください。他社の製品をご使用の場合は、メーカー名、機種名、バージョンなどをご記入ください。

おことわり

本書は、アライドテレシス株式会社が作成したもので、全ての権利を弊社が保有しています。弊社に無断で本書の一部または全部をコピーすることを禁じます。予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。本装置の内容またはその仕様により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

Copyright © 1999 アライドテレシス株式会社

商標

CentreCOM は、アライドテレシス株式会社の登録商標です。

マニュアルバージョン

1999年3月 Rev.A 初版
1999年11月 Rev.B 記述訂正

調査依頼書 (CentreCOM® FS708E)

年 月 日

一般事項

1. 御社名:

部署名:

ご担当者:

ご連絡先住所: 〒

TEL: ()

FAX: ()

2. 購入先:

購入先担当者:

購入年月日:

連絡先(TEL): ()

ハードウェアとネットワーク構成

1. ご使用のハードウェア機種(製品名)、シリアル番号(S/N)、製品リビジョン(Rev)

製品名: CentreCOM FS708E



S/N _____ Rev _____

2. お問い合わせ内容

別紙あり 別紙なし

設置中に起こっている障害

設置後、運用中に起こっている障害

3. ネットワーク構成図

別紙あり 別紙なし

簡単なもので結構ですからご記入をお願いします。



安全のために

必ずお守りください



警告

下記の注意事項を守らないと火災・感電により、死亡や大けがの原因となります。

分解や改造をしない

本製品は、取扱説明書に記載のない分解や改造はしないでください。火災や感電、けがの原因となります。



分解禁止

雷のときはケーブル類

・機器類にさわらない
感電の原因となります。



雷のときはさわらない

異物はいれない 水は禁物

火災や感電の恐れがあります。水や異物を入れないように注意してください。万一水や異物が入った場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。



異物厳禁

表示以外の電圧では使用しない

本製品に付属のACアダプターは100Vで動作します。



電圧注意

付属のACアダプター以外で使用しない

火災や感電の原因となります。必ず、付属のACアダプターを使用してください。



付属品を使い

コンセントや配線器具の定格を超える

使い方はしない
たこ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。



たこ足禁止

通風口はふさがらない
内部に熱がこもり、火災の原因となります。



ふさがらない

湿気やほこりの多いところ
油煙や湯気のある場所
には置かない
火災や感電の原因となります。



設置場所注意

設置・移動のときは電源プラグを抜く
感電の原因となります。



プラグを抜く

ACアダプターのコードを傷つけない
火災や感電の原因となります。



傷つけない

ご使用にあたってのお願い

静電気注意

本製品は、静電気に敏感な部品を使用しています。部品が静電破壊する恐れがありますので、コネクターの接点部分、ポート、部品などに素手で触れないでください。



次のような場所での使用や保管はしないでください

- ・直射日光の当たる場所
- ・暖房器具の近くなどの高温になる場所
- ・急激な温度変化のある場所(結露するような場所)
- ・振動の激しい場所

- ・湿気の多い場所や、水などの液体がかかる場所(湿度80%以下の環境でご使用ください)
- ・ほこりの多い場所や、ジュースを敷いた場所(静電気障害の原因となります)
- ・腐食性ガスの発生する場所



取り扱いがはていねいに
落としたり、ぶつけたり、強いショックを与えないでください。



お手入れについて

清掃するときは電源を切った状態で
誤動作の原因となります。



プラグを抜く

機器は、乾いた柔らかい
布で拭く
汚れがひどい場合は、柔らかい布に
薄めた台所用洗剤(中性)をしみこませ、
強く絞ったものでふき、乾いた
柔らかい布で仕上げてください。



お手入れには次のものは使わないでください
・石油・みがき粉・シンナー・ベンジン・ワックス・
熱湯・粉せっけん(化学ぞうきんをご使用のときは、その注意書に従ってください)



シンナー類禁止